

ガス給湯器＜外壁貫通設置形＞

WFK-S1600

WFK-S1600-C

安全上のご注意

この工事説明書では、機器を正しく設置してお客様に安全に使用していただくために、下記のことを必ず守ってください。いずれも安全に関する重要な内容です。

表示の意味は次のようになっています。内容をよくご確認くださいから工事を行ってください。

表 示	意 味
 危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

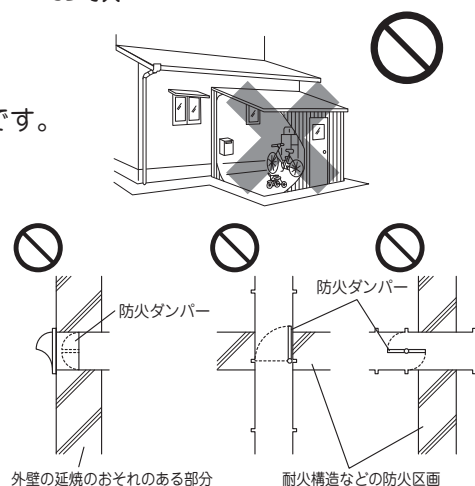
※「お願い」と記載された項目は、工事の際の気を付けてもらいたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な禁止事項		必ず行う事項		電源プラグをコンセントから抜く
	必ずアース線を接続する				

危険 工事をされる方へのお願い 1

- この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。
絶対に屋内に設置しないでください。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。
- 増改築などで機器や排気口を囲わない。
波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。
- 排気筒には、防火ダンパー等は絶対に取付けないでください。



734S1782WD

⚠ 警告 工事をされる方へのお願い 2

- この機器を安全に正しくご使用いただくために工事説明書を良くお読みになり、指定された工事を行ってください。
 - 機器の設置基準及び施工にあたっては、この工事説明書と「ガス機器の設置基準及び実務指針（一般財団法人 日本ガス機器検査協会発行）」に従って工事を行ってください。
 - 設置場所によっては、近隣の家と騒音、排気ガスの熱風によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。
 - 燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないような設置をするか排気方向を変えるなどの処置をしてください。変色・破損・腐食の原因となります。
 - 集合住宅の最上階など給水圧が低い場合は、機器の給湯能力を十分に得られない場合がありますので、水圧を確認してください。この機器を使用するには最低 53.9kPa (0.55kg/cm²) (動水圧) の水圧が必要です。据え付けについては、各地の火災予防条例によって基準が定められています。
 - 設置工事が終わったら **（設置工事後の点検）** のチェックリストに基づいて再確認してください。再確認後、**（試運転）** と **（お客様への取扱説明）** を行ってください。
 - アース工事を必ず行ってください。アースが不完全な場合、感電する場合があります。
- [B L 認定品の場合]
- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、B L マーク証紙の貼付（または刻印等）がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのB L 保険制度に基づき保険金が支給されます。
 - B L 保険制度の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（<https://www.cbl.or.jp/>）に掲載しているB L 保険の手引をご覧ください。なお、B L 保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング（TEL 03-5211-0559）でもお受け致します。

⚠ 注意 工事をされる方へのお願い 3

- 地下水や井戸水・温泉水などは機器を腐食させるおそれがありますので、機器に接続しないでください。
- アースはガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

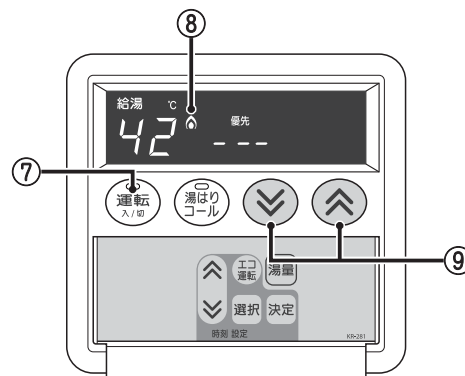
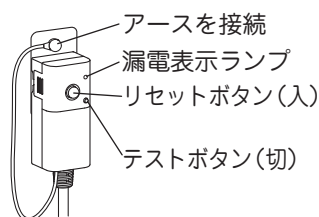
⚠ 警告 設置工事後の点検

●チェックリスト

点 検 項 目	点 検 内 容	参照項目	チェック
機器およびその周辺	ガ ス 種	機器が使用するガス種に適合していますか。（銘板確認）	①
	電源(電圧・周波数)	電源電圧・周波数に適していますか。（銘板確認）	①
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防の措置は十分ですか。	②
	設 置 条 件	設置条件を満足していますか。	②
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	②
電 気 工 事	電源工事は指定された工事がされていますか。		⑤
	アース工事はされていますか。		⑤
	付属の漏電ブレーカーが使用されていますか。		⑤
	リモコンコードと機器との接続は確実にされていますか。		⑤
給水・給湯配管接続	配管接続部からの水漏れはありませんか。	⑤	
ガ ス 接 続 工 事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	⑤	
ド レ ン 配 管 工 事	指定された工事がされていますか。	⑤	
試運転	試運転は正常に完了しましたか。（給湯動作の確認）	試運転	

<準備>

1. 給水元栓をいっばいに開ける。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認後、給湯栓、シャワー栓を閉める。
3. アース線をアース端子に取付ける。
4. 漏電ブレーカを根元まで確実にコンセントに差し込む。
5. ガス元栓を全開にする。
6. 漏電ブレーカの動作確認をします。漏電ブレーカのテストボタンを押して漏電表示ランプが点灯すれば正常です。その後リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯するのを確認してください。
7. リモコンの  を押し、運転ランプが点灯、リモコンの表示が点灯することを確認します。

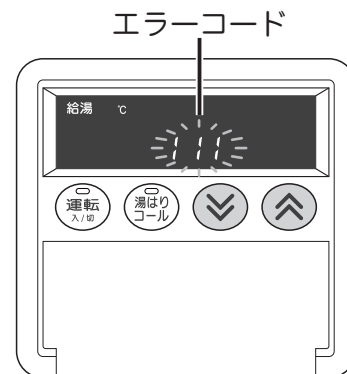


※ 別売の浴室リモコンが接続されている時のみ、**優先** は表示される場合があります。

<給湯の動作確認>

8. 給湯栓又はシャワー栓を開き、リモコンの給湯表示部に  が点灯し、お湯が出るのを確認します。

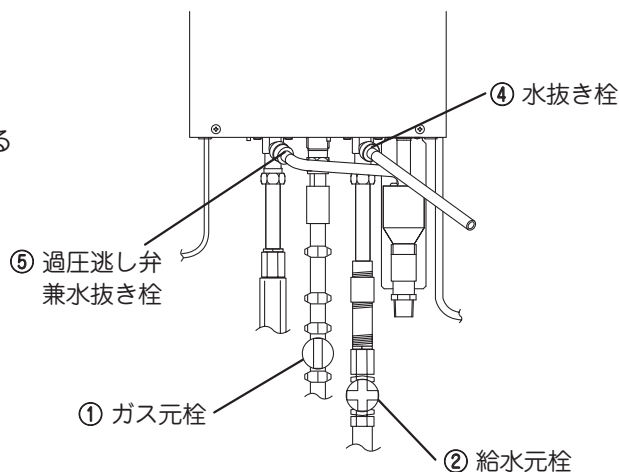
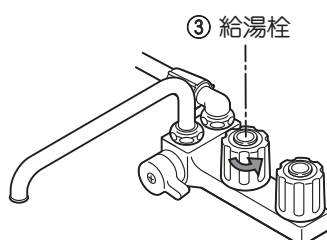
※ はじめて使用するときには、ガス配管中に空気が残っていて点火しない場合があります。この場合リモコンの「運転ランプ」が点滅し、時計表示部にエラーコード **1111** が点滅表示され給湯不着火をお知らせします。このような場合は、いったんすべての給湯栓を閉め、 を押してエラーを解除し、再度  を押し、給湯栓を開ける操作を数回繰り返してください。



9.   を操作し、湯温が変わることを確認してください。
10. 確認が終わったら、すべての給湯栓を閉めてください。
11. すぐに使用する場合、リモコンの時刻設定を行います。
(設定方法は、取扱説明書の 19 ページ「時刻を合わせる」を参照してください。)
12. すぐに使用しない場合、試運転終了後、給水元栓、ガス元栓を閉めます。
※ 機器が凍結するおそれがあるときは、機器の水抜きを行ってください。
※ 試運転後、長時間使用しないときも機器の水抜きを行ってください。

<水抜きの要領>

1. ①ガスの元栓を閉じる
2. ②給水元栓を閉じる
3. すべての③給湯栓を全開にする
4. ④水抜き栓と⑤過圧逃し弁兼水抜き栓をゆるめる
5. 機器の水が抜けたら、元通りにする



お客様への取扱説明

お願い

1. 取扱説明書によって、「使用方法」「安全上のご注意」を説明してください。
2. 保証書付取扱説明書をお客様にお渡しし、「アフターサービス」「保証」についてご説明ください。
3. この工事説明書は、取扱説明書と共にお客様にお渡しください。

1

⚠ 注意 設置前のご注意

■設置する機器の確認

機器の用途

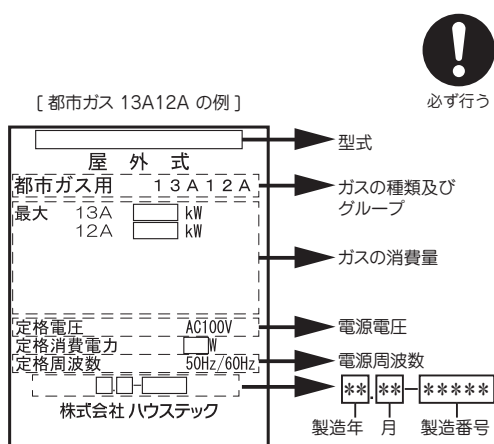
- この機器は外壁貫通設置式の機器です。必ず給排気口が屋外に突き出る壁面に設置してください。また、屋内や波板などで囲われた場所には設置しないでください。

使用ガスの確認

- 設置する機器が使用するガス（ガスグループ）に適合していることを確認してください。本体前面の銘板に表示してあるガスの種類を確認してください。

使用電源の確認

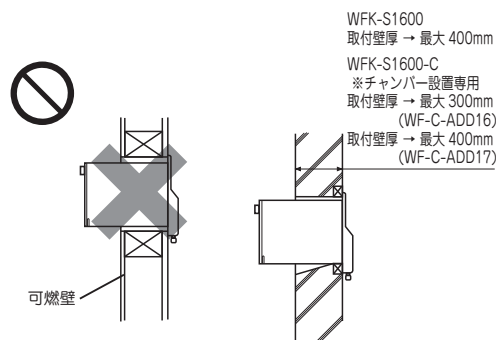
- 銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。



■設置する壁の条件

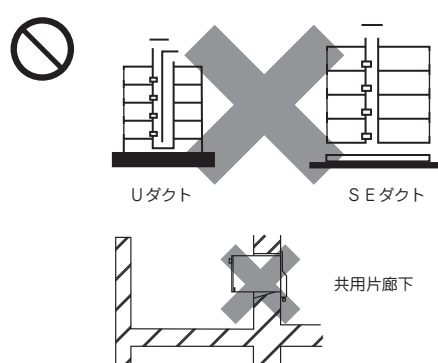
取付壁

- 機器取付の最大壁厚は WFK-S1600 の場合、400mm です。チャンバー設置専用の WFK-S1600-C の場合は取付ける C チャンバー接続用アダプターの型式によって異なります。WF-C-ADD16: 300mm、WF-C-ADD17: 400mm
- 取付壁は、コンクリートなど必ず不燃構造であること。木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（WF-SLV）を使用し、10mm 以上の離隔距離を確保してください。



設置方法

- 従来の BF 式風呂釜の給排気方式がダクト方式（SE・U など）からの取替えには使用できません。
- 共用片廊下への設置はできません。
- WFK-S1600 はチャンバー室へは設置できません。
- WFK-S1600-C はチャンバー設置専用です。
- チャンバー室へ設置する場合は、BF-C 方式に設置してください。
※チャンバー（BF-C）方式への設置については、C チャンバー接続用アダプター付属の設置工事説明書または WFK-S1600-C 付属の設置工事説明書に従ってください。



■電気工事について

電源コード（漏電ブレーカー付）

- 必ず付属の電源コード（漏電ブレーカー付）を使用してください。
- 電源コードに取付けられている漏電ブレーカーを取りはずして設置しないでください。
- 電源は必ず浴室外の専用コンセント（アース端子付）を使用してください。
- 機器のアース（接地）工事を施してください。

2

⚠ 注意 設置前のご注意

施工される前に、設置場所について、次のことを確認してください。

項 目	確 認 事 項	説 明 図
設 置 場 所 の 周 囲	● ガソリン、ペンシン、接着剤など引火性の危険物を扱う場所には設置しないでください。 ● 業務用薬品（アンモニア・塩素・イオウ・塩酸・エチレン化合物など）を使用する場所には設置しないでください。	
	● 換気扇・レンジフードなどからの風が器体に当たる場所はさけてください。 ● この機器は屋外設置型です。浴室には絶対に設置しないでください。なお、波板などで囲われた場所にも設置しないでください。 <注意> この機器は家庭用ですので、業務用には用いないでください。	
取 付 壁 穴 の 寸 法	● 取付壁穴（木枠・金枠など）の内寸は、最も狭いところで幅 230 × 高さ 335mm 以上が必要です。	
ス 修 理 ・ 点 検 の た め の ス	● 機器の修理・点検が容易かつ安全にできるよう、機器前方は 600mm、側方 150mm 以上のスペースを設けてください。 ● 機器下方にも配管工事や水抜き操作のできる十分なスペースを確保してください。	

■機器の設置基準

項 目	設 置 基 準	説 明 図										
不燃材料以外の材料で仕上げられた物との離隔距離	●排気口と周囲の不燃材料以外の材料で仕上げられた物とは、次の離隔距離（右図）をとってください。 （単位：mm 以上） <table><tr><th>方 向</th><th>上 方</th><th>側 方</th><th>下 方</th><th>前 方</th></tr><tr><td>離隔距離</td><td>300</td><td>150</td><td>150</td><td>600 (300)</td></tr></table> （ ）内は防熱板および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物などの部分」との離隔距離です。 ※排気ガスが壁面ではね返り、機器が燃焼不良を発生する場合があるため、機器前方は 600mm 以上の空間を設けてください。	方 向	上 方	側 方	下 方	前 方	離隔距離	300	150	150	600 (300)	////// は、不燃材料以外の材料で仕上げられた壁
	方 向	上 方	側 方	下 方	前 方							
離隔距離	300	150	150	600 (300)								
障害物との離隔距離	●排気口の上方 250mm 以内に障害物を設けないでください。なお、上方障害物が「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」の場合には、300mm 以内に障害物を設けないでください。 ●床面または地面から 150mm 以上上方に設置してください。	（上方障害物） （下方障害物）										
	●側方の障害物は、右図の基準を守ってください。なお、側方障害物が「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」の場合には、150mm 以上を守ってください。	（側方障害物）										

■機器の設置基準

項 目	設 置 基 準	説 明 図
の 建 離 物 開 隔 □ 部 距 離 と	● 機器からの排気が開放された窓から屋内に流入しない十分な距離(右図)を確保してください。 もし、上方に窓がある場合は 300mm 以上、側方に窓がある場合は 150mm 以上離してください。	

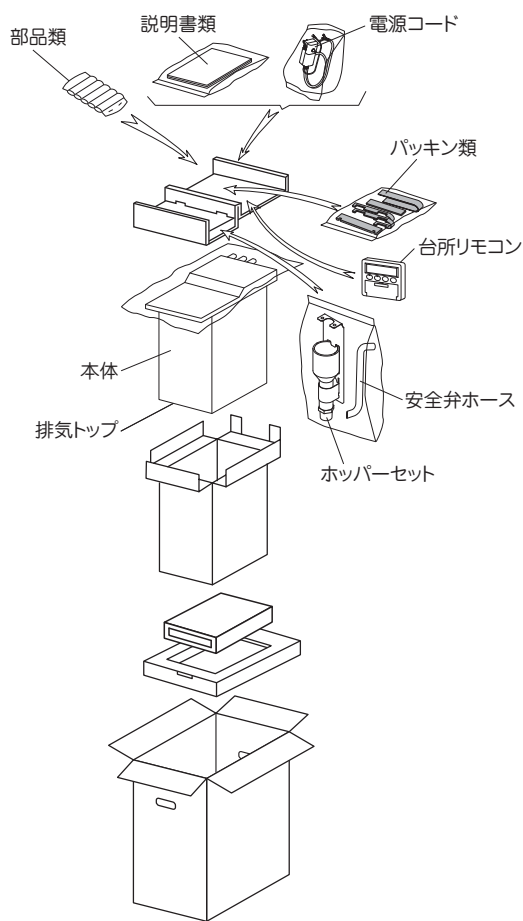
詳細については、日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実務指針」に従ってください。

3 同梱部品の確認

お願い

■機器本体

本体及び付属部品と個数を確認してください。



※ 本図は WFK-S1600 を示します。

- 本体を梱包箱から取り出した時、排気トップを下にして本体を仮置きしないでください。
排気トップが変形するおそれがあります。

部品名	形 状	個数	部品名	形 状	個数
台所リモコン (KR-281)		1 個	サラタッピンネジ (φ5×35)		4 個
電源コード [漏電ブレーカー付]		1 個	樹脂プラグ (φ6×30)		4 個
設置工事説明書 取扱説明書 (保証書付)		各 1 部	デルタイトネジ (M4×8)		4 個
ケーシング防水パッキン		1 枚	六角ボルト (M4×10)		4 個
フランジ防水パッキン(上)		1 枚	六角ナット (M4)		4 個
フランジ防水パッキン(縦)		2 枚	Y型端子		4 個
フランジ防水パッキン(下)		1 枚	丸型端子		1 個
ビニールホース (100mm)		1 本	樹脂プラグ (φ6×25)		2 個
ホースバンド (大) [安全弁ホース用]		1 個	タッピンネジ (φ4×25)		2 個
ホースバンド (小) [ビニールホース用]		1 個	閉端接続子		2 個
コードバンド		1 個	コネクタコード		1 個
タッピンネジ (φ4×8)		1 個	ホッパースセット		1 個
カバーザガネ		4 枚	安全弁ホース		1 本

● Y型端子 2 個、丸型端子 1 個は電源コードが長い場合、切断後使用する部品です。

■別売部品

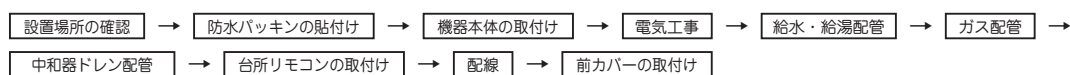
浴室リモコン (FR-281)	配管カバー (WFKC-580)	金 枠		台所用ドレン排水器具 WFK-DNK
			型 式	D × L
		パッキン、座金ナット付	WFK-WAKU330 (PA-113BF) (PA-113BFA)	330 × 464
			WFK-WAKU470 (PA-116BF)	470 × 520

4

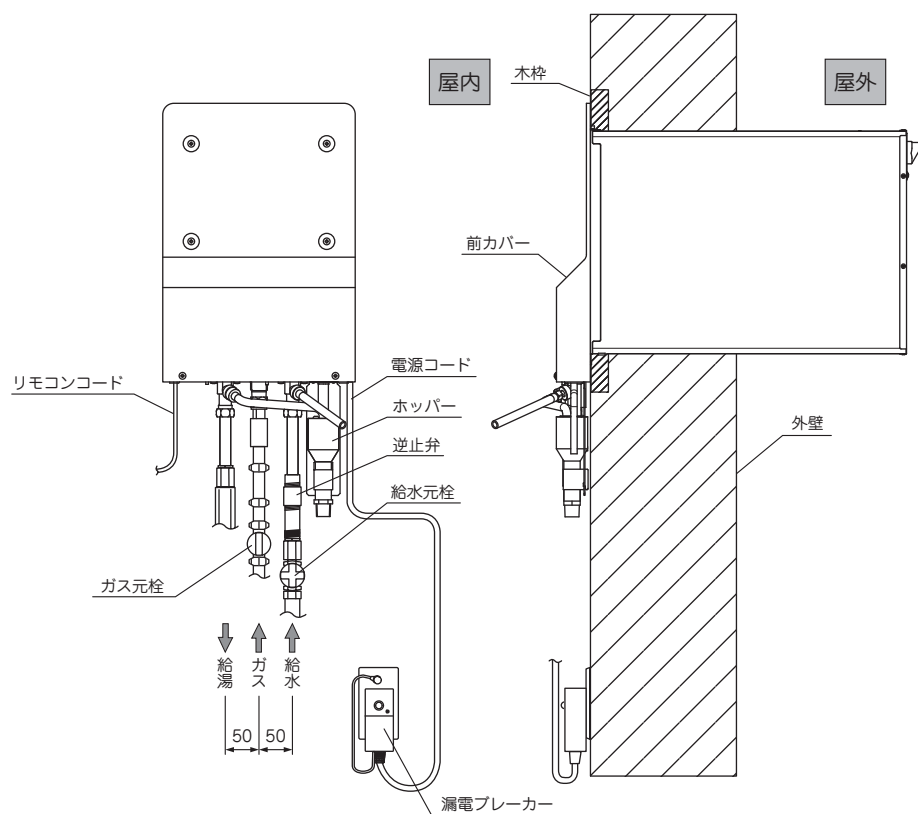
機器の設置

お願い

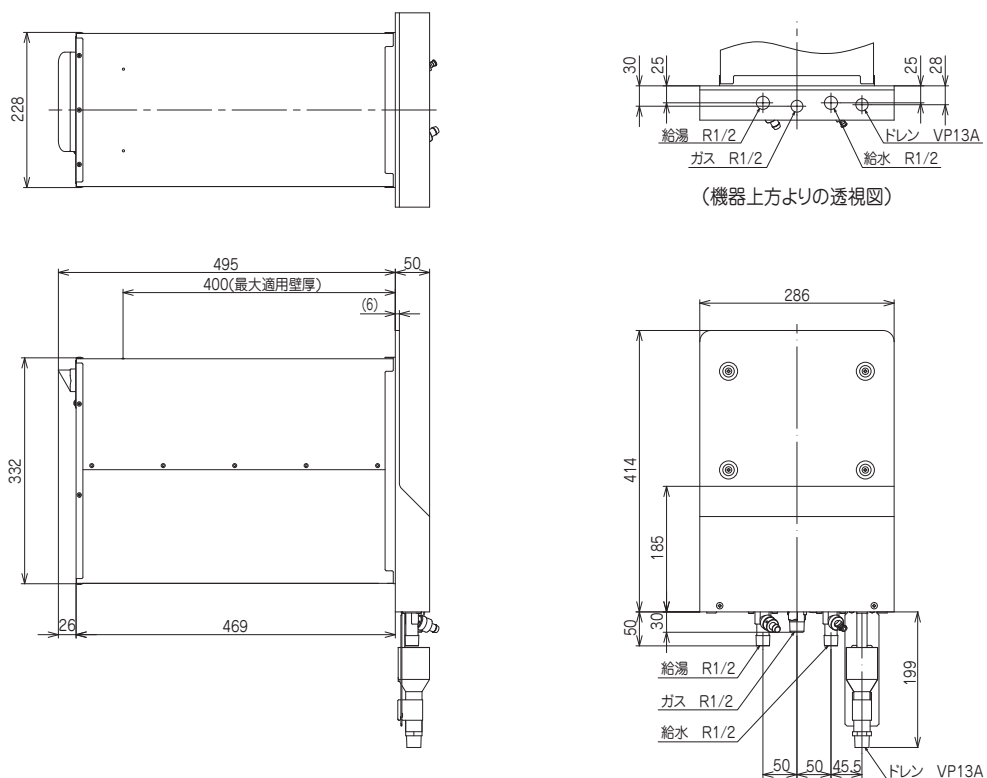
■施工手順



■標準設置例



■本体寸法図



① ■防水パッキンの貼付け

●ご注意

- ・壁面と外装フランジとの水切りおよび、外装フランジと外装ケーシング締付け部よりの漏水防止のため、付属のパッキンを確実に貼付してください。
- ・パッキンの貼付が確実でないと雨水が機器の中に入ったり、室内の壁を汚したりする可能性があります。



必ず行うこと

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. ケーシング防水パッキンの貼付け	① 外装フランジと外装ケーシング締付け部に付属のケーシング防水パッキンを貼付してください。 ※ ケーシング防水パッキンの端部は外装ケーシングの上面で重なるよう貼付する。 ※ 締付け部コーナーにすき間ができないよう注意して貼付する。(4ヶ所) ※ ケーシング防水パッキンと外装フランジの間にすき間ができないよう突き合わせて貼付する。(全面)	外装フランジと外装ケーシング締付け部(全面) 外装ケーシング ケーシング防水パッキン 外装フランジ 外装フランジパッキン 重なるように貼付 ケーシング防水パッキン 外装フランジ
2. フランジ防水パッキンの貼付け	① 外装フランジに付属のフランジ防水パッキン(上)、フランジ防水パッキン(下)、フランジ防水パッキン(縦)を貼付してください。 ※ 外装フランジのネジ穴部とフランジ防水パッキン(上)の切り欠き部の位置をあわせて貼付する。(2ヶ所) ※ 外装フランジパッキンにフランジ防水パッキン(上)、フランジ防水パッキン(下)、フランジ防水パッキン(縦)が貼り付かないよう注意して貼付する。(全面) ※ 外装フランジの壁固定穴とフランジ防水パッキン(縦)の切り欠き部の位置をあわせて貼付する。(6ヶ所) ※ ケーシング防水パッキン、フランジ防水パッキン(上)、フランジ防水パッキン(下)、フランジ防水パッキン(縦)の間にすき間ができないよう突き合わせて貼付する。(全面)	ネジ穴部 フランジ防水パッキン(上) フランジ防水パッキン(縦) フランジ防水パッキン(下) 外装フランジ壁固定穴 外装フランジパッキン 重ならないように貼付する ふさがないようにする ネジ穴部にあわせる すき間ができないよう貼付する

② ■機器本体の取付け

●機器本体取付け時のご注意

- ・金枠を壁に固定する場合、必ず付属のパッキンを金枠に入込み金枠を既設の木枠にしっかり固定してください。
パッキンの貼付が確実でないと、雨水が機器の中に入ったり、室内の壁を汚したりする可能性があります。



⚠ 機器本体内の配管類の分解・取外しはしないでください。
水漏れなど思わぬ事故や故障の原因となります。

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. 取付前の準備	●取付壁穴の状態を確認してください。 ●取付壁穴(木枠・金枠など)の内寸法は最もせまいところで幅230×高さ335mm以上必要です。また、本体寸法(286×414mm)よりもひろい場合には、別売の金枠を取付けてください。 ()内寸法は可燃壁取付用スリーブの寸法です。(別売の金枠は2種類ありますので、壁穴にあわせて適当なものを選んでください。) ●既設の金枠の内寸法がせまい場合 (例：PA-108BF、PA-112BF、PA-113BFP など) 既設の金枠を取外して、別売の金枠を取付けてください。 < 注意 > 既設の金枠を取外することができない場合は、この機器を設置することはできません。 ●機器の取付面が垂直であることを確認してください。	
2. 機器本体の取付	① 機器本体の前カバーを外す。	
	② 機器本体を壁穴に差し込む。 ※ 外装を壁穴に差し込む際は、貼付した防水パッキンがはがれないように注意してください。	
	③ 機器本体のフランジを付属のネジ類でしっかりと固定する。 ※ この機器は潜熱回収型高効率製品のため燃焼中にドレン水が排水されますので、機器本体は水平となるよう取付けてください。 機器本体に傾きがあるとドレン水が流れなくなり、エラーになる場合があります。 ●木枠固定の場合 機器フランジの中側と下側の穴に付属のカバーザガネを使用してサラタピンネジ(φ5)で固定してください。 ●金枠固定の場合(既設の金枠を外せる場合) 別売の金枠を取付けた場合、付属のデルタイトネジ(φ4)で4ヶ所固定してください。	

●機器本体の取付けのつづき

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト						
2. 機器本体 の取付	●金枠固定の場合（既設の金枠を外せない場合） （例：PA-116BF、PA-113BFA） 別売の金枠を既設の金枠に取付けてください。 必ず付属のパッキンを金枠に入込み、既設の金 枠に付いているボルト（φ8またはφ10）を利用 して固定してください。 機器本体は、別売の金枠に付属のデルタイト ネジ（φ4）4ヶ所固定してください。 ※既設金枠対応表 <table><tr><th>金枠形式</th><th>金枠内寸法（横×高）</th></tr><tr><td>PA-113BFA</td><td>250 × 400</td></tr><tr><td>PA-116BF</td><td>380 × 430</td></tr></table>	金枠形式	金枠内寸法（横×高）	PA-113BFA	250 × 400	PA-116BF	380 × 430	金枠 既設ボルト パッキン ナットで固定 デルタイトネジ 本体 カバー座金 前カバー
金枠形式	金枠内寸法（横×高）							
PA-113BFA	250 × 400							
PA-116BF	380 × 430							

③ ■電気工事

●電気工事についてのご注意

この機器は、AC100V の配線工事が必要です。

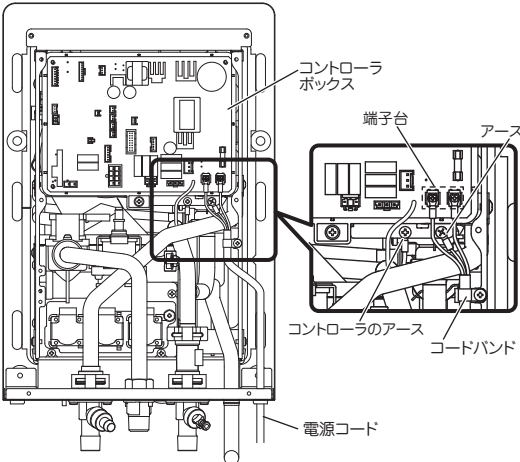
配線工事は電気工事士（電気工事士免状の交付を受けている者）に依頼してください。



電源プラグを抜く

項 目	注 意 事 項	説 明 図
電源コンセント	●この機器専用のコンセントを機器の近くに設けてください。コンセントはアース端子付のものとしてください。	
1. 本体と電源コードの接続	① 機器本体下部のニップル固定板についているコードグロメット（右側）を抜き取り、電源コードを通したあと、再度取付ける。	

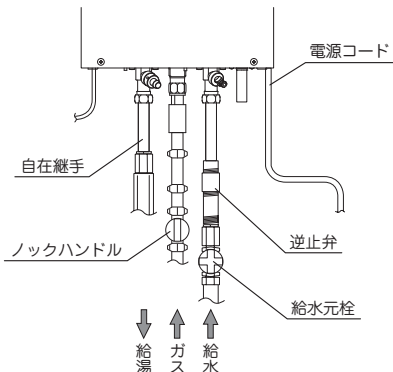
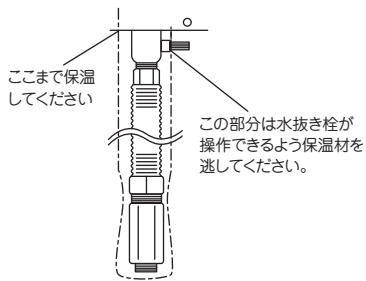
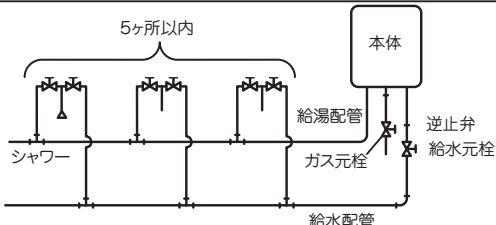
●電気工事のつづき

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. 本体と電源コードの接続	② 電源コードは、コントローラボックスの右側を通し、コントローラボックス右下のコードバンドで被覆端部を固定する。 ③ 電源コード3芯のうち、「赤」「白」の2芯をコントローラボックス右の端子台2ヶ所に、残り1芯「緑」をアースに固定する。 ④ 電源コードが長い場合は、コードを切断し付属のY型、丸型端子を再度圧着し、機器の接続してください。 ※ 電源コードのアースは右図に示す位置に必ず取り付けてください。 ※ 台所リモコン用コードや別売の浴室リモコンを使用される場合、浴室リモコンコードは、コードグロメット(左側)に通してください。	 ⚠ 注意 コントローラのアースは外さないでください。不着火などの不具合が発生するおそれがあります。

④ ■給水、給湯配管

●給水配管時のご注意

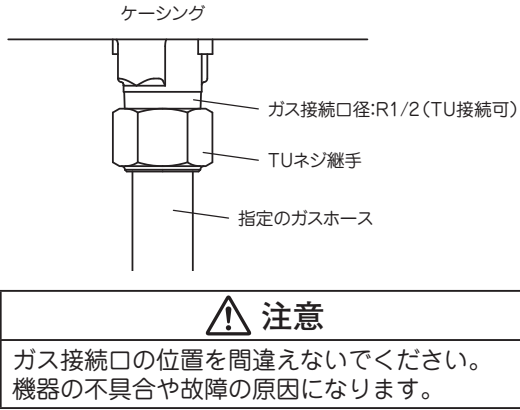
- ・配管工事は水道事業者の指定工事店に依頼し、水道事業者の規定に従ってください。
- ・給水配管工事に使用する材料で水道事業者の規定にあるものは、適合した材料を使用してください。

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. 機器と給水・給湯管の接続	① 給水接続する前に水を通して配管内のゴミ、糸くず等を流してください。 ② 機器の近くには、逆止弁と給水元栓を付けるか、逆止弁付きの給水元栓を付けてください。 ③ 給水管は R1/2 (15A) で接続してください。 ※ 保守・点検や水抜きのため給水接続口の近くには給水元栓を設けてください。 ④ 給湯管は R1/2 (15A) で接続してください。 ※ 給湯量確保・快適に使用するためには、給水圧が 53.9kPa～784kPa (0.55～8kgf/cm²) は必要です。 給水圧が低い場合は、機器の能力が十分発揮されず、お客様とのトラブルの原因となるので加圧ポンプを設置するなどの対策を行ってください。 給水圧が高い場合は、減圧弁を取付けるなどのウォーターハンマー防止処置を行ってください。	 ⚠ 注意 ● 接続口を間違えないでください。 ● 給水給湯配管は塩ビ管を使用しないでください。
2. 保温材の被覆	① 給水・給湯配管からの水漏れがないことを確認したのち給水・給湯配管は保温材で覆ってください。 ● 厳寒地・寒冷地の場合は配管に十分な凍結対策を施してください。 特に、バルブ、ユニオン等接続部が凍結する場合がありますのでご注意ください。	
3. 給湯栓および配管	● 給湯栓は5ヶ所以内までにしてください。 ● 給湯栓は水の通りにくいもの(泡末水栓など)は使用しないでください。 ● 配管はできるだけ短くしてください。 ● 混合水栓はできるだけ圧損の少ないものを選んでください。(2バルブ式等)	

⑤ ■ガス配管

●機器へのガス接続に必要な資格について

- ・都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
- ・LP ガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。
(ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能)
なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
ガス配管工事	① ガスの接続は指定のガスホースで配管してください。 ② ガス管は鉄管配管の場合ユニオンジョイント R1/2 (15A) を使用してください。 ※ ガス元栓の新設・交換はガス事業者に相談のうえ行ってください。 ※ ガス接続口径は R1/2 (T U 接続可) です。 ※ 機器に異物の侵入が無い様に注意してください。 ※ ゴム管による接続は、絶対に行わないでください。 ※ 配管接続終了後、必ずガス漏れチェックを行ってください。	

⑥ ■中和器ドレン配管工事

●ドレン配管時のご注意

ドレン配管工事は当該地区の指定工事店に依頼し、「下水道法」の規定に従ってください。



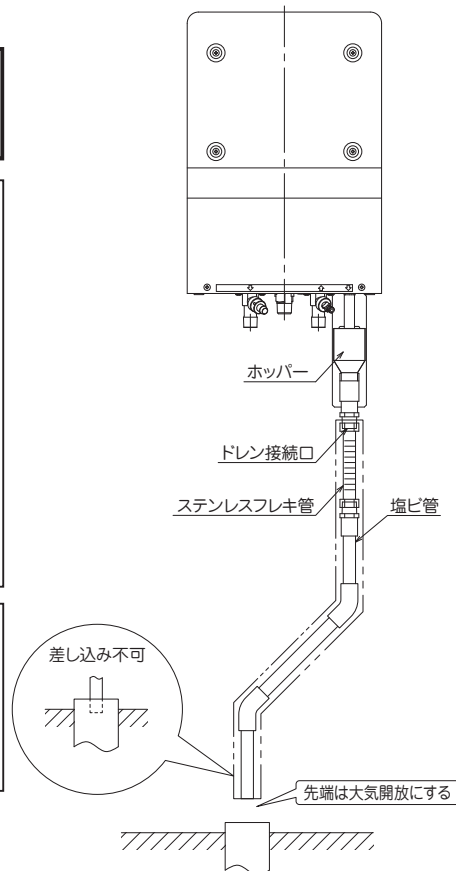
ドレン配管工事

この機器は潜熱回収型高効率製品のため、燃焼中にドレン排水口からドレン水が排出されます(最大約 50cc/min)ので、必ず機器にホッパーを取付、ドレン配管工事を行ってください。

- ドレン配管の先端は大気開放とし、水につからないようにしてください。また、ゴミつまりのないように注意してください。
- ドレン配管はできるだけ短くしてください。横引きする場合は、下り勾配にしてください。
- ドレン配管はコンロ等火気源から熱の影響を受けないところに配管してください。
- 機器からのドレン配管を汚水・雑排水の系統に流すときは、間接排水にし、臭気対策としてトラップを必ず設けてください。この場合、長期不在のときに臭いが出ることがあります。注意を促してください。
- 機器からのドレン配管を雨水の系統に流すときは、間接排水にして、トラップはつけないでください。

- ドレン配管の接続口径は R1/2 (15A) です。ドレン配管の径は途中で細くしないでください。
- ドレン配管は塩ビ管を使用してください。(ホッパー下の配管つなぎ部位のみステンレスフレキ管を使用しても可。ただし、ドレンが滞留しないように下り勾配とすること)

- 凍結予防のため、地域に応じて保温処置(保温材巻き・電熱ヒータなど)をしてください。



●中和器ドレン配管工事のつづき

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. ホッパー金具の取付	① 付属品のホッパーセットからホッパー金具（小）を上部へスライドし、手前に取外してください。 ② ホッパーをホッパー金具（大）から取外してください。 ③ 機器本体に取付けてあるタッピンネジ2個を使用し、ホッパー金具を下側から機器本体に固定してください。	
2. ホッパーの取付	① ホッパー金具（大）の上方突起部とドレンホースをホッパーに差込みながら、ホッパー下方溝をホッパー金具（大）の下方曲げ部に差込みます。 ② ホッパー金具（小）をホッパー金具（大）の溝部に差込み、下方へスライドし固定します。 ③ ホッパーが外れないことを確認してください。 ④ ドレンホースは、折れたり、つぶれたりしないことを確認してください。	
3. 安全弁ホースの取付	① 安全弁ホースの斜めカットの方をホッパーの中に挿し込み、もう一方を過圧逃し弁兼水抜き栓に取付て、ホースバンドで固定してください。	
4. ピニールホースの取付	① 水抜き栓に付属のピニールホース（100mm）を付けて、ホースバンドで固定してください。	
5. ドレン配管の取付	① ホッパーの接続口にドレン配管を接続する。	

⑦ ■台所リモコン取付

●台所リモコン設置場所の注意

- ・台所リモコンは、絶対に浴室内に設置しないでください。
- ・次のような場所には設置しないでください。
 - 温度が高くなる場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 水しぶき、油、ゆげのかかる場所

特に、ガスレンジ、ガスコンロの近くには設置しないでください。

- ・リモコンのコードには別売部品 2S-CORD-WF-10M/20M を用いてください。

市販のコードを用いる場合は仕上がり外径 4.1 × 6.2 (長円) で芯線の公称断面積が 0.5mm² のものを使用してください。

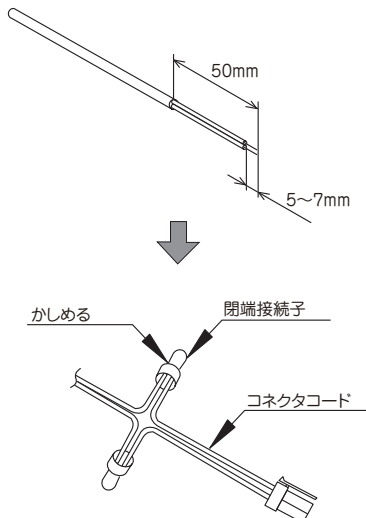
- ・リモコンの取付工事の際は、必ず漏電ブレーカーの電源プラグをコンセントから抜いて工事をしてください。



電源プラグを抜く

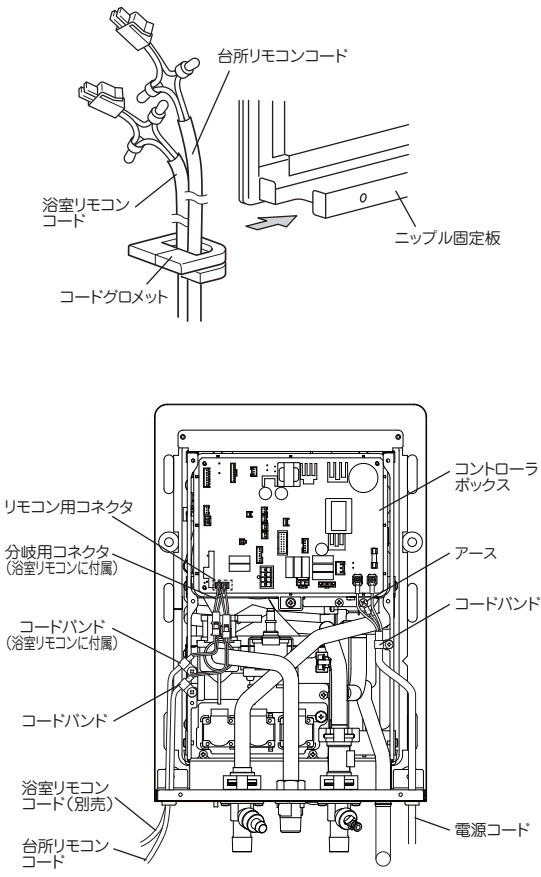
項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. 台所リモコン壁面取付	■コード露出配線の場合 ① 取付位置の壁面に取付ピッチ 107mm で垂直に取付穴(φ 6.0)をあけ、付属の樹脂プラグ(φ 6 × 25)を打ち込みます。 ② 市販のコードを用いる場合、リモコンコードを加工し、Y型端子を取付ける。 ③ リモコンカバー、フタを取り外す。 ④ リモコン裏面の端子にY型端子を固定する。(極性はありません。) ⑤ 外側の太い被覆をズレ止め溝に差し込む。 ⑥ 2芯コードを溝におさめる。(ねじれないようにしてください。) ⑦ リモコン本体を付属のタッピンネジ(φ 4 × 25)で壁に固定する。 ※ 表示窓が歪むおそれがありますので、ネジを強く締めすぎないようにしてください。 ⑧ リモコンカバー、フタを取付ける。 ⑨ 市販のコードステップルなどでコードを壁に固定してください。 ※ 浴室リモコン (FR-281) を取付ける場合は「浴室リモコン用設置工事説明書」に従ってください。	取付け穴(φ6.0) 壁面 取付ピッチ 107mm 樹脂プラグ (φ6×25) Y型端子 かしめる 65mm リモコンカバー リモコンフタ 外す Y型端子を固定する (リモコン裏面) ズレ止め溝 溝におさめ リモコン本体 表示窓 タッピンネジ (φ4×25) リモコンコード 壁面

●台所リモコン取付のつづき

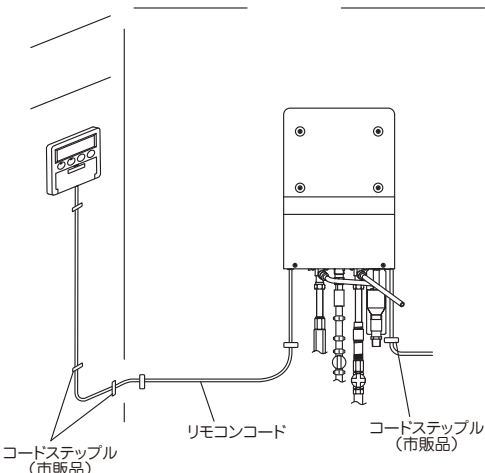
項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
2. リモコンコードの加工	① リモコンコードに付属のコネクタコードを閉端接続子で取付けてください。	

⑧ ■配 線

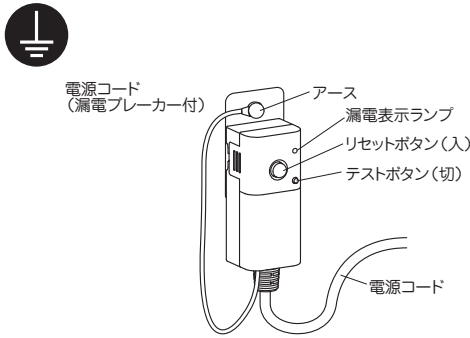
項目1のコントローラとコードの取付は、③ ■電気工事で述べた電源コードの接続と同じ要領で行います。

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. コントローラとリモコンコードの取付	① 電源コード取入部と反対側のコードグロメットを外し、台所リモコンコードを通したあと、ニップル固定板にはめ込む。 ② 台所リモコンコードは、コントローラボックス中央上部のコネクタに差し込み、前フレーム左下部に付属のコードバンドとタッピンネジ(φ4×8)で固定してください。 ※ 浴室リモコンを使用する場合は、電源コード取入部と反対側のコードグロメットを外し、浴室リモコンコードを通したあと、ニップル固定板にはめ込む。 ※ グロメットに浴室リモコンコードを通すときは薄皮は取り除いてください。 ※ 浴室リモコンを使用する場合はコントローラボックス中央上部のコネクタに浴室リモコンに付属のリモコンコード分岐コネクタを差し込み、リモコンコード分岐コネクタのコネクタに台所リモコン・浴室リモコンのコネクタを差し込んでください。差し込み後は、前フレーム左下部に浴室リモコンに付属のコードバンドとタッピンネジ(φ4×8)で固定してください。	

●配線のつづき

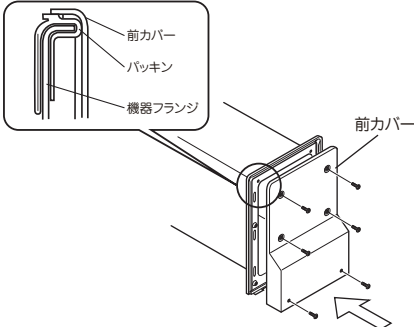
項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
2. コードの固定	① リモコンコードは、市販のコードステップルなどで壁に固定してください。	

⑨ ■電源プラグの取付

項 目	注 意 事 項	説 明 図
電源コード	① アース線をアース端子に取付ける。 ② 漏電ブレーカーの電源プラグをコンセントに差し込む。 ● 電源コードが短い場合 止むを得ず現地で調達する場合には、ビニルキャブタイヤケーブル(VCT 0.75mm² 3芯)を準備してください。 機器付属の電源コード(漏電ブレーカー付)との接続は、十分な絶縁を施してください。 ※アース端子がコンセントに設けられていない場合には、アース線を継ぎ足して、D種接地工事を施してください。 ※アース線は絶対にガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。	

⑩ ■前カバーの取付

機器本体へのガス・給水・給湯配管および電源コード・リモコンコードの接続が終了したら、前カバーを取付けてください。

項 目	作 業 内 容	ポ イ ン ト
1. 前カバーの取付	① 機器本体に前カバーをはめ込む。 ※ 機器フランジに取付けられたパッキンが外れたり、はみ出ないように注意して前カバーを取付けてください。 ② 前カバーをネジ6本でしっかり固定する。 (上2本は塗装したネジです。)	

給水・給湯配管時のご注意

配管条件や水圧条件などによっては、水栓ツマミの開閉操作で、ウォーターハンマー現象が発生することがあります。その際は、必要に応じて市販のウォーターハンマー緩衝部品を取付けてください。